

文書館開館 30 周年記念

企画展示「文書館の掘り出しモノ」を開催し、 公開の機会の少ないいろいろなアーカイブズを紹介します

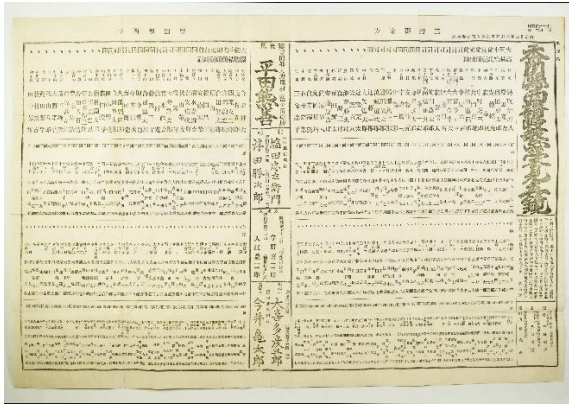
文書館にはいろいろなアーカイブズ(記録資料)が収蔵されています。そのなかには、興味深い資料であるにもかかわらず一点モノで、テーマでくれないなどの理由から展示を企画するのが難しい資料もあります。令和3年度に開催の企画展「文書館のイッピン展」では、そうした普段なかなか展示などでご覧いただく機会の少ない文書館の所蔵資料を紹介し、「文書館にこんなモノがあったのか」などといった驚きのなかで、多くの皆様にご来館いただきました。

そこで今回はさらに多種多様なアーカイブズを、文書館の収蔵庫の中から探し出し、ご紹介します。題して「文書館の掘り出しモノ」。いろいろな観点から掘り出したアーカイブズをご覧いただき、再びの驚きを感じてもらえれば幸いです。

- 開催日時 **6月21日(金) ~ 9月1日(日) 9:00~17:00**
(休館日:毎週月曜日、祝日、7月16日(火曜日)、8月13日(火曜日))
- 会場 **香川県立文書館**(高松市林町2217番地19) 1階展示室
- 観覧料 **無料**
- 展示内容 (資料数 26件(予定)「6 おもな展示資料」参照)
 - イチバンとか初めてとか:**文書館のバリエーション豊かな掘り出しモノを紹介。
 - みんなが掘り出したアーカイブズ:**他館の展示や書籍などで利用された文書館資料を紹介。
- 関連行事
 - ・アーカイブズトーク:**展示担当職員による、展示室での展示解説
日時:7月24日(水)~8月28日(水)の毎水曜日 11:00~11:30 参加無料
- おもな展示資料



(資料1)「東京オリンピック聖火リレーのぼり」
香川県立文書館の古文書分野でイチバン新しい時代からの掘り出しモノ。
新型コロナの影響で1年延期され、香川県では令和3年4月17日・18日に実施された東京2020オリンピック聖火リレーののぼり。世界的イベントと香川県とのかかわりを伝える記録資料として、文書館ではこうした資料も収蔵している。



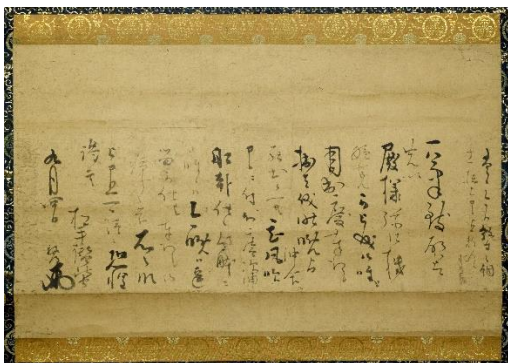
(資料2)「香川県西讃岐繁栄見立鏡」
西讃を舞台とした長者番付。東方に三野郡、西方に豊田郡を配し、惣後見には大野原村の平田氏、行司には仁尾村の塩田氏、観音寺町の浮田氏のほか、東方の前頭筆頭には四国新道の建設で活躍し瀬戸大橋や香川用水の提唱者としても知られる大久保甚之丞の名も見える。これが好評だったのか著者は翌明治25年(1892)に、全県版も発行。ちょっと下世話、だけど気になるアーカイブズを掘り出し。



(資料3)「写真(高商甲子園優勝)」
香川県の高校野球史の一コマを紹介する掘り出しモノ。高松商業学校(現在の高松商業高等学校)は、大正14年(1925)、第11回全国中等野球大会で全国制覇を遂げた。優勝2日後の8月25日夜9時半に海路高松港に選手らが帰着、出迎えの市民が持つ提灯などで港は火の海の様だったという。写真はその際の歓迎の様子で、うしろのみこしには「祝高商優勝」と書かれた提灯のほか「北古馬場町」とあり、町ごとに用意したものと思われる。地元校の甲子園優勝に盛り上がる様子がうかがえる。



(資料4)「井筒屋徳島店の売り出し案内」
井筒屋は引田町(現在の東かがわ市)で江戸時代より醤油づくり、大正時代以降には酒や酢の製造も営んだ佐野家の屋号。現在その邸宅は讃州井筒屋敷として観光施設となっている。資料は昭和10年(1935)のもので、当時の井筒屋は徳島や大阪にも進出、その徳島店による春の売り出しチラシである。定期購入すれば抽選で大阪歌舞伎座へ招待とあるが、掘り出しモノポイントはその反対側、左下の女性。「松竹レビュースター 笠置シズ子」は、相生村(現在の東かがわ市)出身の歌手・女優の笠置シズ子の若き日の姿である。



(資料5)「書状」
平成23年(2011)に茨城県立歴史館で開催の「頼重と光圀ー高松と水戸を結ぶ兄弟の絆ー」展のために掘り出された資料。同展では水戸黄門で知られる水戸藩2代藩主の徳川光圀と、その兄で高松藩の初代藩主松平頼重を中心に水戸藩と高松藩の関係などを紹介。本資料は高松藩2代藩主で光圀の子、頼常の書状として紹介された。なお光圀のあとには頼重の子綱條が継いでいる。

■お問い合わせ先

香川県立文書館

〒761-0301 高松市林町2217-19
TEL(087)868-7171 FAX(087)868-7198

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/bunshokan/bunshokan/>